

令和3年度事業報告

1. 事業概要

令和3年度は、コロナ禍が2年連続となり経済への打撃が大きい最中、経済活動の停滞を通じて、雇用・就業に多大な影響を及ぼすことが懸念されております。

当センターもコロナ禍によって、年度計画が大幅な修正を余儀なくされ、事業運営自体に影響が及んでおり、特に新入会員の減少傾向が令和元年度の196名をピークにここ2年連続で大きく下回る状況となっております。

受託額に関しましては、第1四半期より第3四半期まで前年度を上回る水準でしたが第4四半期に少雪の影響とコロナ禍により受託額の減少となり、その結果、令和3年度の会員総数171名、前年比で会員12名減、受託額8,348万円の746万円増で9.8%の増となり、就業率では、増減率4.1%の増となっており、更に派遣事業では、コロナ情勢が影響し、大幅な減額となり契約額は1,344万円の前年比774万円減で36.5%の減、派遣延日人数は2,856人で28.5%の減となり、請負・派遣受注総額にあたっては9,692万円となり、前年比を28万円下回る結果となっております。

又、2年連続でのコロナ禍により、会員皆様に就労して戴き深く感謝申し上げますと共に発注者並びに各関係機関の皆様にご理解ご協力を戴いたことに厚くお礼申し上げます次第です。

令和3年度事業実績比較表

項目		令和3年度	令和2年度	差引増減数	増減率 (%)
受託事業	正会員数 (人)	171	183	△ 12	△ 6.6
	就業率 (%)	85.4	82.0	3.4	4.1
	祖入会率 (人)	2.02	2.14	△0.12	△5.6
	受注件数 (件)	1,110	1,199	△ 89	△ 7.4
	就業延人員数 (人)	12,420	11,416	1004	8.8
	受注金額 (万円)	8,348	7,602	746	9.8
派遣事業	派遣受注件数 (件)	41	33	8	24.3
	就業延人員数 (人)	2,856	3,992	△1,136	△28.5
	派遣金額 (万円)	1,344	2,118	△ 774	△ 36.5
受注総額 (万円)		9,692	9,720	△ 28	△ 0.3

2. 事業実施状況

(1) 会員の拡大

- ① コロナ情勢を踏まえて、年2回による入会説明会の実施と「一人一会員入会活動」の促進を図りました。
- ② ホームページ・市広報誌・新聞等による宣伝活動を行い女性会員の入会促進に努め

ました。

- ③ 会員就労アンケート調査の実施により就労状況の把握を行い会員拡大事業の推進を図りました。

(2) 受注拡大と就業開拓

- ① 受注拡大・就業開拓の宣伝効果を上げるためにホームページのリニューアルを行い、市内外からの受注依頼にも対応すべく PR 体制の整備を図りました。
- ② 役職員による年 2 回の顧客訪問実施、「受注拡大と就業開拓」と「就業アンケート」により、顧客からのニーズに対応すべき課題に取り組んで参りました。

(3) 就業率と技能向上

2年連続でのコロナ禍により、講習会・研修会等などは限られた条件の中での開催となりましたが、今後は就業率・技能向上は会員への希望職種に繋がるため、より多くの講習会・研修会等の開催に努めます。

(4) 安全就業の徹底

安全適正就業委員会が中心となり、安全就業をシルバーの最優先事項として安全適正就業パトロール、又、役職員による特別パトロールの実施で会員への安全適正就業を訴えることに努めました。

しかし、刈払機による飛散事故 2 件、傷害 2 件、熱中症 1 件の発生状況となっております。

健康管理維持対策として、自主参加による就業時前のラジオ体操・健康促進講習会等の開催に努めました。

(5) 適正就業の推進

シルバー理念の「共働・共助」を基本とした会員への公平な就業機会の提供を推進し、適正就業ガイドラインに沿った会員及び発注者に周知を図ると共に適正就業活動に努めました。

(6) 独自事業の拡充

市民との交流の場である「第 13 回生き生きフェア」は、10 月第 3 日曜日に開催する予定が、2 年連続で感染症防止対策により中止とさせて戴きました。

しかし、独自推進委員会による生産野菜を前年度同様に会員とふれあいセンターの来場者の皆様に販売する運びとなり、市民とセンターの交流を深めることが出来ました。

(7) ボランティア活動と会員の親睦・交流の推進

地域社会に貢献するシルバー人材センターとして、ボランティア活動を通して市民への PR 活動とより一層の交流を深めるために次のとおり実施しました。

- ① 4 月 16 日（金）役員職員によるワインロードの清掃

28 名参加

- ② 4月22日(木) 会員による主要公園、観光道路、公共施設等の清掃 83名参加
市担当課 3名参加
- ③ 10月6日(水) 手縫い雑巾寄贈 200枚
寿光園 100枚寄贈
こども未来課 100枚寄贈
(市内各保育所)
- ④ 「富良野シルバー親睦会」は、2年連続での感染症拡大防止のため、一部活動停止などから親睦・交流を推進することが出来ませんでした。

(8) 組織体制と財政基盤の強化

組織体制としては、役職員並びに各委員会による協議のもとに、課題改革に取り組み適正な事業運営に努めました。

組織基盤の強化は、国並びに富良野市からの補助金の適正活用と円滑な運用に努め、安定的な基盤確保のための新規事業として、指定管理事業に公募参加表明を行い、ふれあいセンター指定管理者の指定を受け、令和4年度より事業展開を図ることとなりました。

(9) 関係機関との連携強化

富良野市をはじめ北海道庁、その他関係機関並びに(公社)全国シルバー人材センター事業協会、(公社)北海道シルバー人材センター連合会、道内各シルバー人材センターと連携し、事業の推進に努めました。

(10) 中期計画の推進

31年度策定の「第1次中期計画」3年目となりましたが、「会員数・受託件数・就業延日人員数・受託額」は、目標値には届きませんでした。

理由としては、コロナ情勢ばかりではありませんが、様々な分野の影響も有り先行が不透明なのが現状となっております。